



【先週 2月28日～3月6日の外食の出来事】

■吉野家HD、250億円の融資枠契約 みずほ銀などと初設定

吉野家は、みずほ銀行などと250億円を上限とする融資枠契約を結んだ。融資枠にはみずほ銀行や三井住友銀行、三菱UFJ銀行など6つの金融機関が参加。無担保・無保証で、契約期間は2023年2月28日までの2年間。

■小僧寿し、通期の予想 純利益は前期比5.1倍の1億3700万円

2021年12月期の純利益が前期比5.1倍の1億3700万円になる見通しだと発表。営業利益は前期比2.5倍の1億4500万円、経常利益は同3.7倍の1億5400万円、売上高は同7.9%増の66億1700万円となる見通し。

■1月の外食売上高は前年比79.0%と前月から更に落ち込む JF

1月は、新型コロナ感染拡大に伴う2度目の「緊急事態宣言」が発令され、店内飲食の客足が激減、一部では休業する店舗も見られ、外食全体の売上は前年同月比79.0%と、12月から更に落ち込んだ。

■力の源ホールディングス、第3四半期(2020年4月～12月)の連結業績 減収赤字

2021年3月期 第3四半期の連結業績は売上高120億1000万円(前年同期比46.1%減)、営業損失9億3100万円(-)、経常損失9億8000万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純損失20億2500万円(-)であった。

■一家ダイニングプロジェクト、第3四半期(2020年4月～12月)の業績 減収赤字

2021年3月期 第3四半期(2020年4月～12月)の業績を発表。売上高28億9600万円(前年同期比53.4%減)、営業損失7億8700万円(-)、経常損失7億9800万円(-)、四半期純損失7億6800万円(-)であった。

■コロワイド、アトム株売り出しで190億円調達 連結は維持

株式会社コロワイドが、連結子会社で東証・名証 第二部の株式会社アトムの株式2千万株を売り出す。3月2日終値では時価191億6千万円。コロワイドは売り出し後も議決権保有割合41.2%となり連結を維持させる。

■大戸屋ホールディングス、第3四半期(2020年4月～12月)の連結業績 減収赤字

2021年3月期 第3四半期の連結業績は売上高120億3000万円(対前年同期比35.5%減)、営業損失31億1500万円(-)、経常損失28億3200万円(-)、四半期純損失50億1700万円(-)であった。

■ピエトロ、第3四半期(2020年4月～12月)の連結業績 増収増益

2021年3月期 第3四半期の連結業績は売上高76億300万円(対前年同期比4.9%増)、経常利益4億3700万円(同24.8%増)、四半期純利益2億3900万円(同45.3%増)と増収増益を確保した。

■鳥貴族がバーガー事業参入へ 居酒屋苦戦で「第2の柱」目指す

鳥貴族は、ハンバーガー事業に参入。チキンバーガー専門店「TORIKI BURGER」の1号店を東京都内で開業する予定。新型コロナウイルスの感染拡大で、持ち帰りや宅配に強いバーガー業態を「第2の柱」に育てる。